

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 31 号

第 31 週 (7月27日 ~ 8月2日)

発行年月日:平成21年(2009年) 8月 7日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

**新型インフルエンザの集団発生は6件(8月2日現在、滋賀県)
腸管出血性大腸菌感染症の発生は今年になって7例目**

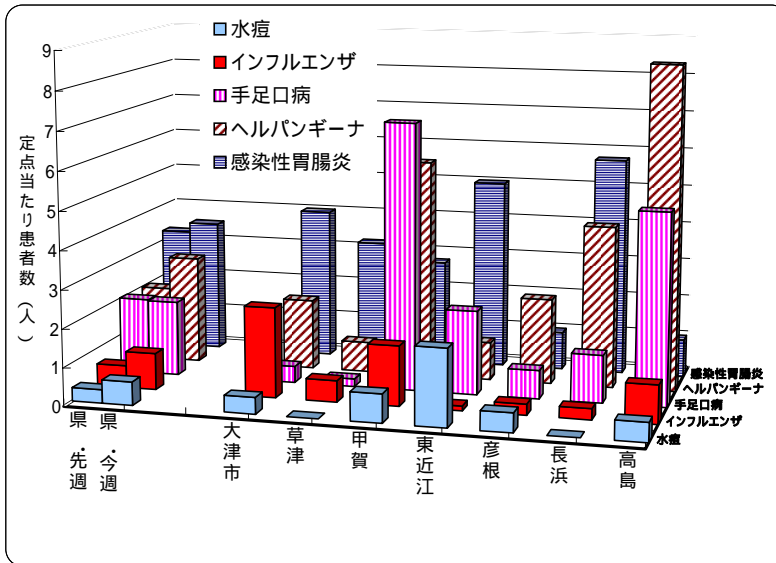
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりかなり多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

新型インフルエンザの発生動向調査は、7月24日以降、確定患者の把握から集団発生の早期把握(クラスターサーベイランス)に切り替わりました(発生状況については下記グラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、手足口病では甲賀および高島で、ヘルパンギーナでは高島で警報発生基準値を超えています。

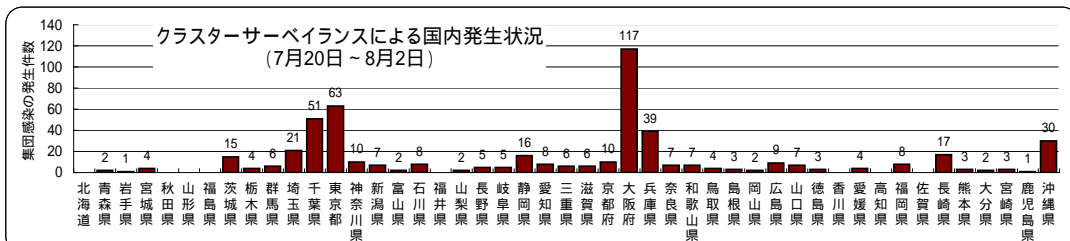
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で 14名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で 2名、五類感染症のアメーバ赤痢で 1名、クロイツフェルト・ヤコブ病で 1名、後天性免疫不全症候群で 1名、麻しんで 1名の届出がありました。また、新型インフルエンザ(H1N1)*で 24名の届出がありました。
*: 集団感染が発生した集団における患者数(疑似症患者を含む)

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第31週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、インフルエンザ、水痘の順に多くなっています。
ヘルパンギーナは高島で先週の倍増となっています。
手足口病は甲賀および高島で先週よりさらに増加しています。
インフルエンザは大津市で急増し、先週の約9倍増となっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況(厚生労働省発表資料より)



感染症法の一部改正により実施されているクラスターサーベイランスにおける、国内の新型インフルエンザの発生状況はグラフのとおりです。新型インフルエンザ検査が陽性となった集団感染の累計発生件数は8月2日24:00時点で516件となっています。また、感染症法第12条に基づく届出患者数(疑似症患者を含む)は816名となっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (31週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (31週)	全国 (31週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	12	168	15,387	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	99	^(**) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	1,594	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	27	0	43
	A型肝炎	0	0	81	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	36	2	104
	マラリア	0	0	36	1	56
	レジオネラ症	0	4	398	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	1	8	477	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	127	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	72	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	77	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	5	880	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	49	1	76
	梅毒	0	0	430	5	839
	破傷風	0	2	61	5	123
	急性脳炎	0	1	135	1	190
	風しん	0	2	113	2	309
	麻しん	1	2	528	39	11,015
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)	24	25	1,033	-

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

* 3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数(集団感染が発生した集団における報告数)

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第31週(7/27～8/2) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 18例
二類感染症: 結核 338例	A型肝炎 3例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 136例	オウム病 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
コレラ 1例	日本紅斑熱 5例	ウイルス性肝炎 3例
細菌性赤痢 3例	レジオネラ症 19例	急性脳炎 4例
腸チフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 10例	風しん 5例
新型インフルエンザ等感染症: 新型インフルエンザ(H1N1) 796例	ジアルジア症 1例	麻しん 8例
	梅毒 5例	
	破傷風 2例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第26～31週、6/22～8/2)

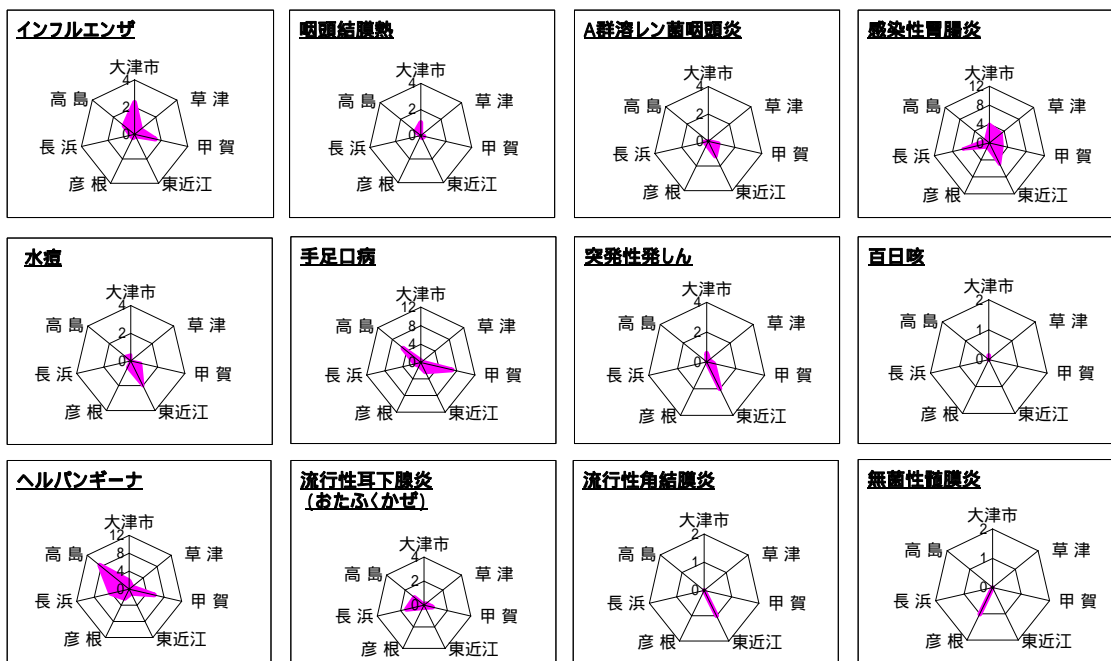
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ		前週より減少)			
	26週	27週	28週	29週	30週	31週		週			
	(6/22～)	(6/29～)	(7/6～)	(7/13～)	(7/20～)	(7/27～)	27	28	29	30	31
インフルエンザ	0.08	0.08	0.31	0.60	0.58	0.96					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.32	0.42	0.58	0.39	0.32	0.32					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.03	1.35	1.00	0.81	0.48	0.35					
感染性胃腸炎	3.94	3.48	3.06	3.42	3.26	3.52					
水痘	0.71	1.19	0.77	0.81	0.35	0.61					
手足口病	0.39	0.71	0.84	1.48	2.00	1.97					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0.16	0.13	0.19	0	0					
突発性風しん	0.35	0.58	0.55	0.68	0.48	0.55					
百日咳	0	0	0	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.71	0.84	0.97	1.58	1.97	2.84					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.45	0.42	0.23	0.19	0.45					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0	0.13	0.25	0	0.25	0.13					
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0.29	0.29	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.14	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第31週、7/27～8/2)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.96	2.36	0.56	1.57	0.13	0.29	0.29	1.00	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.32	1.00	0	0.25	0.20	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0	0	0.75	1.20	0.25	0.25	1.00	
感染性胃腸炎	3.52	4.00	3.20	2.75	5.00	1.00	5.75	1.00	
水痘	0.61	0.43	0	0.75	2.00	0.50	0	0.50	
手足口病	1.97	0.43	0.20	7.00	2.20	0.75	1.25	5.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.55	0.57	0.20	0.50	2.00	0	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.84	1.86	0.80	5.75	1.00	2.25	4.25	8.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.45	0	0.20	0.75	0.20	0.25	1.50	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は先週より急増し、定点当たり患者数は0.96となっています。特に、大津市保健所管内で集団感染の発生が2件あり、定点当たり患者数は2.36と多くなっています。

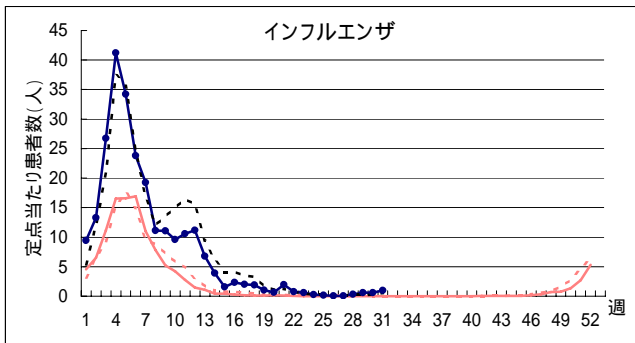
水痘-----東近江で先週よりかなり増加しています。

手足口病-----県全体ではほぼ横ばいとなっていますが、東近江では先週よりかなり減少しています。また、甲賀では先週よりさらに増加し、警報終息基準値(2.00)を大幅に超えています。高島でも先週よりさらに増加し、警報開始基準値(5.00)となっています。

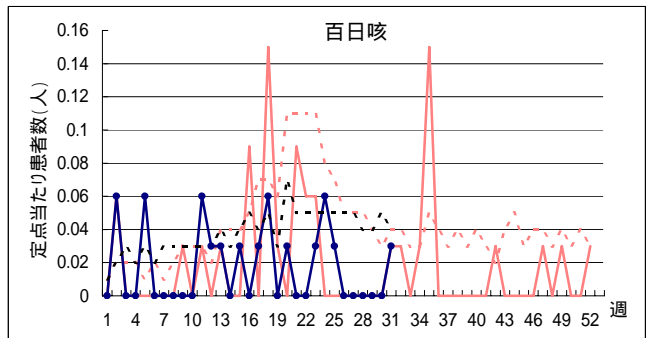
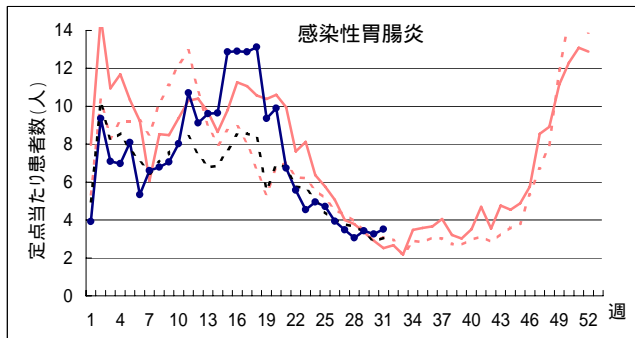
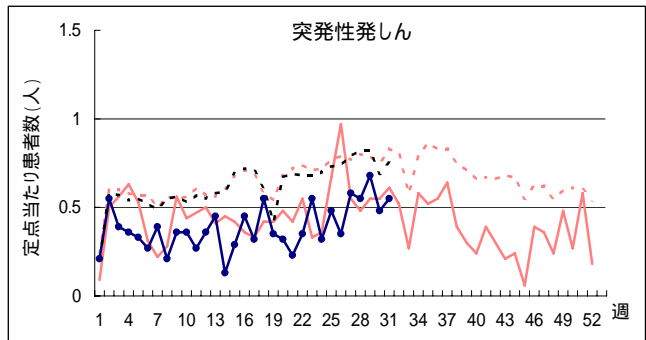
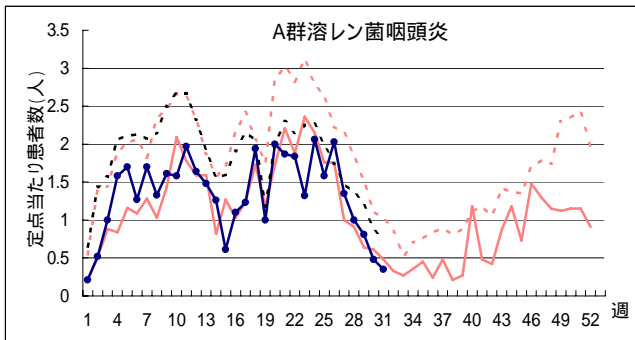
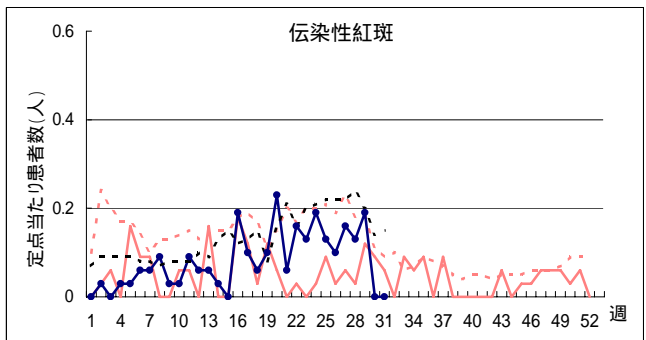
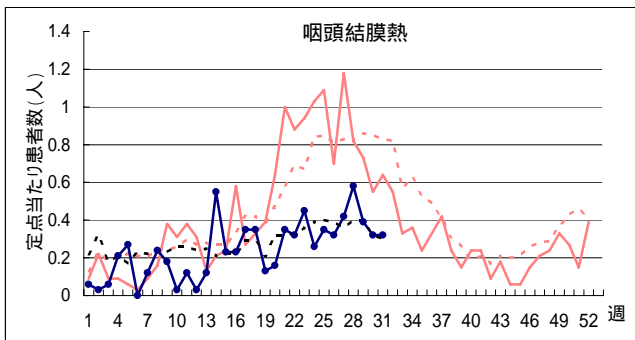
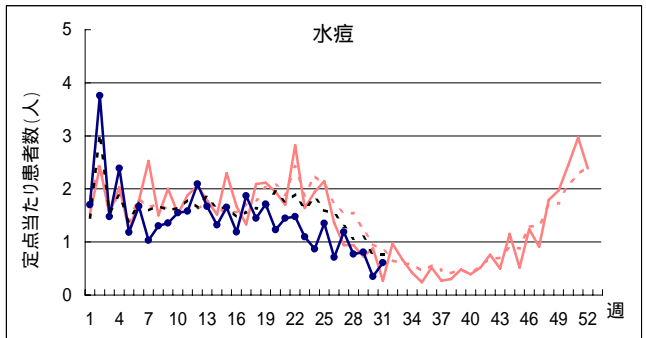
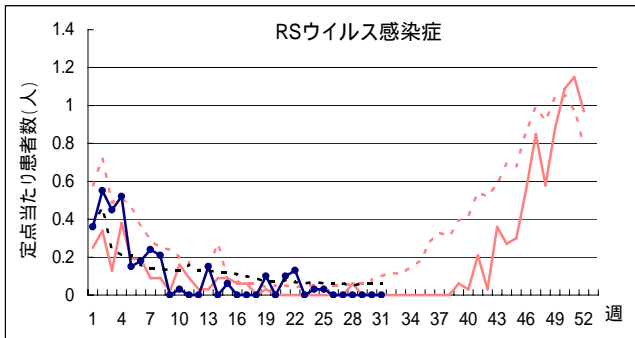
ヘルパンギーナ-----県全体では増加傾向を示し、長浜以外で先週より多くなっています。特に高島では先週のほぼ倍増となり、先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を大幅に超えています。

流行性耳下腺炎-----長浜で、先週よりかなり多くなっています。

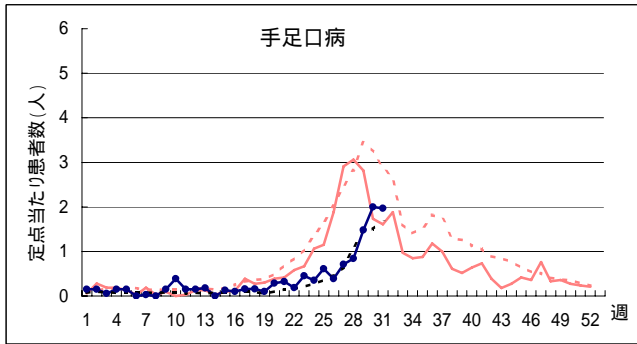
疾病別定点当たり患者数(平成21年第31週、H19.12.29～H21.8.2)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第31週、H19.12.29~H21.8.2)



H20
 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dashed red line)
 H21
 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dashed blue line)

